

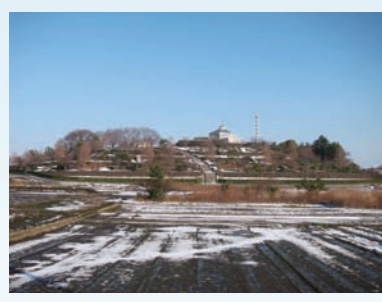
DAIKONSHIMA WALKING MAP

大根島

その結果生まれたのが大根島特有の肥沃な土壌「黒ぼく土」である。

「大根島」は火山島
およそ二〇万年前、江島から始まった一連の火山活動によってできた島が大根島である。その後、十二万年前、大山からの火山灰が一メートル降り積もり、さらに、八万年前、三瓶山の火山灰が一メートル降り積もった。

A 中海眺望コース 1km



1 大塚山
火山の噴火口跡で標高42.19mの小さい丘である。頂上には市営の牡丹展示施設「グリーンステラ」がある。この大塚山からは四方が見渡され、その眺望はすばらしく、また、桜の名所でもある。



2 八東学園の桜
昭和7年に現在地に八東小学校が建てられ、その記念樹として桜が植樹された。樹齢80余年となり、高さ12m幹回り4mの巨木もあり、松江近郊では見事な桜並木である。



3 グリーンステラ
1年を通して牡丹を見ることが出来る。蘭やガーベラなどの花が四季折々に楽しめる「四季の部屋」や「熱帯植物の部屋」がある。

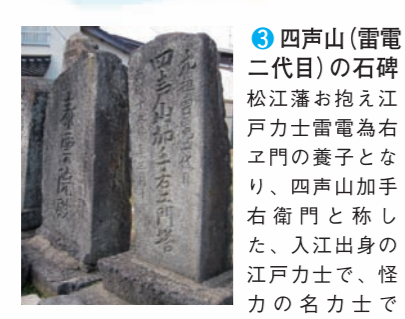


4 焼火社
永正8年に勧請され、石造りの祠のみ現存する。隠岐島の焼火神社との関連があると伝えられている。

B 西巡りコース 5.2km



1 京島
「京島」は海の守り神(竜神・りんごんさん)が祭られ、漁師の信仰を集めている。美しい京島の松の佇まいは「中海の嫁が島」と称されている。



2 入江公会堂
大正7年に廃校となった入江小学校の跡地で、島石でできた長い門柱は当時を偲ぼせる。敷地内に竹谷俊一氏やカサシ四声山の石碑がある。



3 三所神社
三所神社には大己貴命、事代主命、三保津姫命の三神を祭る。春日神社、若宮社、焼火社を合祀する。なお境内には、入江出身の力士で、大正年間大坂相撲で活躍した小結稲の花清五郎寄進の石碑がある。



4 地神神社
創建年代、由緒は不詳。祭神は天津日高彦火二命。境内に焼火社の小祠が祀られている。また、境内には大きな銀杏の木がある。



B 西巡りコース

中国牡丹園
大根島牡丹園
八東公民館
八東学園(文)
保健福祉センター(ちとせ八東)

A 中海眺望コース

大根島牡丹園
八東公民館
八東学園(文)

C 北巡りコース

寺津
亀尻
馬渡

D 南巡りコース

由志園
幽鬼洞
遅江

8 泰雲院殿

石見国大森代官井戸平左衛門正明は私財を投じ甘藷の栽培をすすめて百姓を飢饉から救った。水田の少ない当地の住民にとって甘藷の恵みは大きく、その遺徳を偲ぶため、八東町でも各地に石碑が建てられ、芋神様として慕い祀られた。



美保関



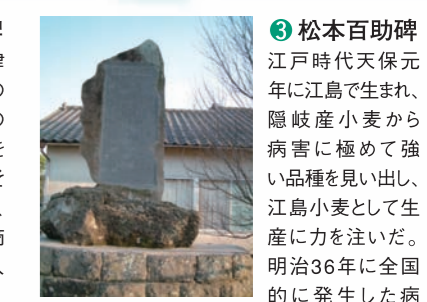
5 江島大橋
全長が1446mの巨大なアーチ橋である。デザインテーマは「風」で、PCラーメン構造の橋としては、完成当時(平成17年)は東洋一であり、世界でも3番目の長さを誇る。この橋の上からの眺めは見事である。



1 寺津の湧水(かわ)
近年まで地区民の生活用水として衣類、野菜、障子等の水洗場として広く利用され、賑わいをみせていた。寺津と波入のみ現存している。



2 波部洞次郎碑
明治12年に寺津で生まれ、寒天の製造に中海産のオゴ草・モッケ草を採用し、村民にその採取を奨励し、自らも波部兄弟商會を創設して購入と採取に尽力した。その後、中海での採取が盛んに行われ村の経済を潤し、その功績を讃えた記念碑である。



3 松本百助碑
江戸時代天保元年に江島で生まれ、隠岐産小麦から病害に極めて強い品種を見出し、江島小麦として生産に力を注いだ。明治36年に全国的に発生した病害に唯一免れ、その名が全国に知られるようになった。その功績を讃えた記念碑である。



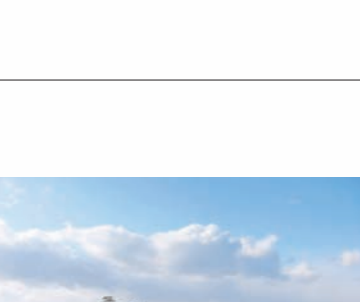
4 蛭蛸神社
創立年代、由緒は明らかではないが、出雲国風土記、出雲神社巡拝記、雲陽誌に記載がある。



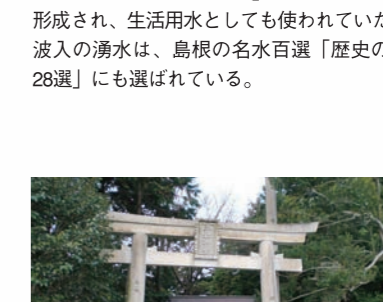
1 波入の湧水(かわ)
島の人達は湧水を「かわ」という。かつては海岸部にあった「かわ」を中心に集落が形成され、生活用水としても使われていた。波入の湧水は、島根の名水百選「歴史の泉28選」にも選ばれている。



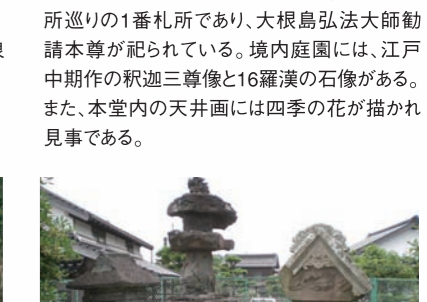
2 観音寺
臨済宗。本尊は聖観世音菩薩。創建年代は不詳。境内に大師堂と白山大権現を祀る。島内88か所巡りの1番札所であり、大根島弘法大師勧請本尊が祀られている。境内庭園には、江戸中期作の釈迦三尊像と16羅漢の石像がある。また、本堂内の天井画には四季の花が描かれ見事である。



4 弁天島
かつては波入の港に浮かぶ島だったが、現在は橋がかけられていける。島全体が親水公園として整備されており、晴天には中海や大山が一望でき眺めは雄大である。周囲には燈塔が冷えて固まった跡がそのまま残っている。



5 三社神社
創建年代、由緒は明らかではない。祭神は大己貴命(大国主命)、事代主命、三保津姫命である。祭神は明治42年に三社神社に合祀され、現在では竜宮社と豊受社を祀るのみであるが、明治時代末までは盛大な祭りが行われ大勢の人で賑わったという。また、遅江港からの、四季折々に変化する大山と中海の眺望はすばらしい。



6 間津崎神社跡
遅江地区の東海岸付近に位置する。祭神は瀬織津姫命、速秋姫命でいずれも海上の守神である。祭神は明治42年に三社神社に合祀され、現在では竜宮社と豊受社を祀るのみであるが、明治時代末までは盛大な祭りが行われ大勢の人で賑わったという。また、遅江港からの、四季折々に変化する大山と中海の眺望はすばらしい。



6 全隆寺
曹洞宗。本尊は如意輪観世音菩薩。創建年代は永禄10年。尼子の出城の跡に建てられ、当時の石垣や堀の跡が今でも見られる。300年前、住職が静岡の可睡斎から薬用として持ち帰り、境内に植えた牡丹が大根島牡丹の起源と言われている。境内に観音堂、秋葉大権現社を祀る。金色に輝く花咲き観音像がある。



4 弁天島
かつては波入の港に浮かぶ島だったが、現在は橋がかけられていける。島全体が親水公園として整備されており、晴天には中海や大山が一望でき眺めは雄大である。周囲には燈塔が冷えて固まった跡がそのまま残っている。



5 三社神社
創建年代、由緒は明らかではない。祭神は大己貴命(大国主命)、事代主命、三保津姫命である。祭神は明治42年に三社神社に合祀され、現在では竜宮社と豊受社を祀るのみであるが、明治時代末までは盛大な祭りが行われ大勢の人で賑わったという。また、遅江港からの、四季折々に変化する大山と中海の眺望はすばらしい。



6 間津崎神社跡
遅江地区の東海岸付近に位置する。祭神は瀬織津姫命、速秋姫命でいずれも海上の守神である。祭神は明治42年に三社神社に合祀され、現在では竜宮社と豊受社を祀るのみであるが、明治時代末までは盛大な祭りが行われ大勢の人で賑わったという。また、遅江港からの、四季折々に変化する大山と中海の眺望はすばらしい。